

2019年5月9日

**AGC、高精細・大画面ディスプレイ向け大型ガラス基板「AN Rezosta™」を開発
—業界最高水準の高ヤング率で、より美しく、大きなパネルの生産を実現—**

AGC（AGC株式会社、本社：東京、社長：島村琢哉）は、業界最高水準の高ヤング率を持つ、高精細・大画面ディスプレイ向け大型ガラス基板「AN Rezosta™」の開発に成功しました。当社は今後、本製品をお客様へご提案していくとともに、2019年内の量産体制整備を目指します。

近年、テレビやデジタルサイネージなどの大型ディスプレイで8Kと呼ばれる超高精細・大画面パネル、ゲーム用モニターやノートPCなどの中型ディスプレイで高精細・高速駆動パネルの採用が拡大しています。これらディスプレイパネルの製造工程では、金属膜の厚膜化やIGZO*1プロセスの採用による高温化が進んでおり、母材となるガラス基板には、金属膜の膜応力による反りの抑制（高ヤング率化）と熱処理による収縮が小さいことが求められています。

AGCはこれまで、全てのパネルサイズに対応可能な中小型～大型パネル用ガラス基板「AN100」と、第6世代サイズを中心とした小型・超高精細パネル用ガラス基板「AN Wizus®」を、お客様の用途に合わせてご提供してきました。今般、市場拡大が見込まれる大画面・超高精細・高速駆動パネルの性能と生産性の向上を実現するために、「AN100」よりヤング率が高く熱収縮が小さい、大型ガラス基板「AN Rezosta™」を開発しました。

「AN Rezosta™」は、85GPaという業界最高水準の高ヤング率と低熱収縮率を備えており、また第8世代などの大サイズ基板の製造と安定的な供給も可能なことから、お客様の大型画面・超高精細・高速駆動パネルの性能や生産性の向上に寄与します。

AGCは、ガラス材料設計、フロート法による高度なガラス製造技術など幅広いガラス技術を追求し、今後も高度化の進むディスプレイ産業の発展に貢献していきます。

【AN Rezosta™ の主な特性】

	AN100	AN Wizus®	AN Rezosta™
ヤング率*2	77 GPa	85 GPa	85 GPa
熱収縮率*2 *3	9 ppm	5 ppm	7 ppm
主な基板サイズ	全世代	第6世代 1500mm x 1850mm	第8世代 2200mm x 2500mm
想定プロセス	a-Si*4	LTPS*5	a-Si/IGZO

◎本件に関するお問い合わせ先：

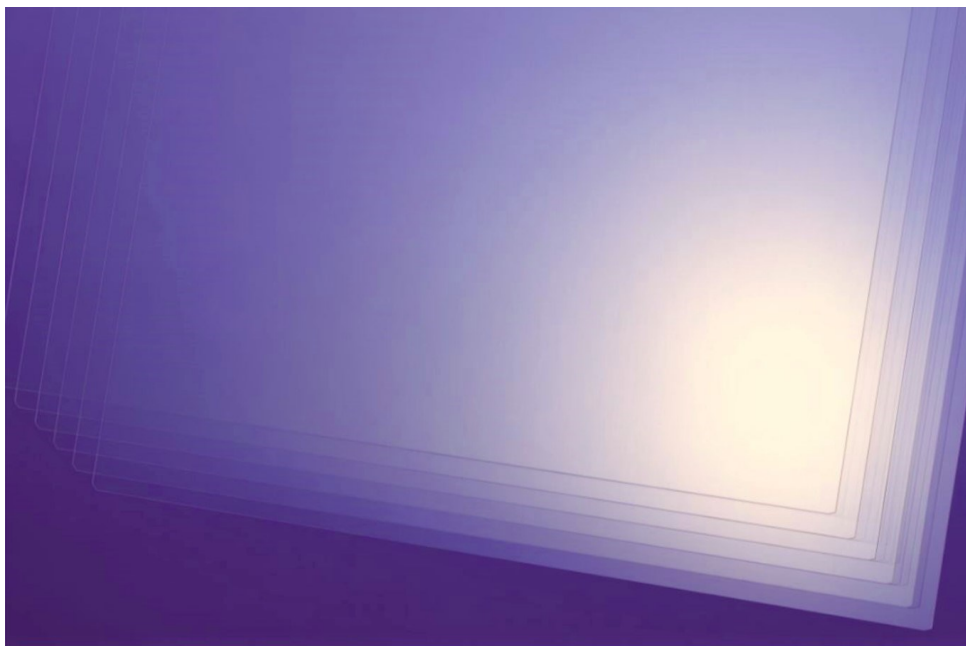
AGC株式会社 広報・IR部長 玉城 和美

(担当：太田 TEL: 03-3218-5603 E-mail: info-pr@agc.com)

【注釈】

- *1 酸化物半導体の一種
- *2 A G C測定結果
- *3 450℃で1時間の熱処理後の収縮率
- *4 アモルファスシリコン
- *5 低温ポリシリコン

【製品画像】



AN Rezosta™

製品画像は、下記 URL 先または QR コードの読み取りによりダウンロードいただけます。

<https://agc2.box.com/s/55x2h9aov4iau9zz48axxfr1sxlojeka>

※画像はご自由にご使用ください。

※ご使用の際はクレジット「画像提供：A G C株式会社」を入れてください。

◎本件に関するお問い合わせ先：

A G C株式会社 広報・IR部長 玉城 和美

(担当：太田 TEL: 03-3218-5603 E-mail: info-pr@agc.com)